

高松市議会議員

とみとの和憲

かずのり

市政レポート



皆様、日頃よりお世話になり、誠にありがとうございます。
今号では高松市議会6月議会での代表質問、9月議会での一般質問
についてお知らせいたします。
今後とも叱咤激励をよろしくお願いいたします。

第12号

令和元年(2019年)11月発行

【令和元年6月定例会 代表質問】

令和初の定例会（高松市議会の令和元年第3回定例会（6月定例会、6月議会））において、6月28日（金）、会派「市民フォーラム21」を代表した質問（代表質問）に登壇しました。



質問項目



1. 政治姿勢について
2. 共生社会について
3. 情報通信技術（ICT）活用について
4. 教育・福祉について
5. 交通政策について
6. まちづくりについて



共生社会

質問 パートナーシップ制度導入の今後の見通し

答弁

今後においてもLGBT(性的少数者)に対する市民の認知と理解の、より一層の向上を図るとともに、パートナーシップ制度の導入も含め、必要とされる措置について検討していきたい。



質問 不登校児童生徒支援

答弁

今年度から、発達障害等により、学習上・生活上の困難のある児童生徒に短期の個別指導を行うアシスト教室を、総合教育センター及び教育支援センターみなみに開設しており、この教室を教育支援センターにも通えない不登校児童生徒が家庭の外に出る第一歩として活用する事としている。

教育委員会としては、従来の施策と、これらの新規施策を効果的に推進するとともに、より一層、関係機関との連携を密にし、不登校児童生徒への支援の強化に努めていきたい。

質問 ひきこもり問題

答弁

ひきこもり相談窓口や、ひきこもり当事者傾聴サロンの開設、さらには、ひきこもりサポーターの派遣事業の実施などにより、ひきこもりからの早期脱却が図られるよう、支援に努めている。また、昨年12月、若者支援事業や相談窓口等の情報を掲載した「たかまつ若者支援サポートブック」を発行した。

あわせて、高松型地域共生社会構築事業として配置している「まるごと福祉相談員」が積極的に対象者のいる場所に出向いて働きかけ、どこの支援機関ともつながっていない、ひきこもりの方を必要な支援に結びつける体制づくりを整備している。

今後、支援を受けていない方の割合が高いという現状を踏まえ、支援機関や地域との連携をより一層密にし、一人でも多くの方々の課題解決に向け、鋭意、取り組んでいきたい。

情報通信技術（ICT）活用

質問 ICTを活用した業務効率化の取組

答弁

AI(人工知能)やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション:認知技術を活用した業務の効率化・自動化の取組)などの先進的なICTを積極的に活用する事で業務改革を推進し、生産年齢人口が減少する事で職員の確保が厳しくなる中においても、行政サービスの維持・向上を図っていきたい。

教育・福祉

質問 夜間中学を設置、あるいは自主夜間中学を支援する考え

答弁

現在、県内には夜間中学及び自主夜間中学は設置されていないが、四国内で県立の夜間中学を開校する動きがある。教育委員会として、夜間中学の設置について自主夜間中学の支援も含め、県教育委員会と連携を図りながら検討する。

質問 今年度末までに放課後児童クラブの待機児童の解消を図る考え

答弁

待機児童数については、昨年度から34人の減となったものの、共働き世帯の増加や核家族化などの要因により、依然として252人が待機状態となっている。

今後において、余裕教室などの学校施設の利用について引き続き教育委員会との協議を進めるほか、近隣の公共施設等の利用についても検討を行うなど、受け皿の拡大に努め、計画の目標である今年度末までに待機児童の解消ができるよう取り組んでいきたい。

交通政策

質問 コミュニティ交通試験運行補助制度の導入における効果

答弁

平成26年度(2014年度)から新たにコミュニティバス等を運行する地域を支援する制度を創設したが、この制度を活用して導入を検討している地域は少なく、具体の活用に取り組んでいる地域においても、利用が見込めるルートの設定に苦慮するなど、その成果として、新たな路線の開設までには至っていない状況。

このため、本格運行に向けての需要調査として、このたび2か年度の試験運行期間を設け、その運行によって生ずる欠損額を補填するなど、新たな試験運行補助制度を創設する事としており、今定例会(6月定例会)に補正予算議案を提出した。

今後においては、地域がこの制度を有効に活用し、運行ルートやダイヤの設定を初め、見込まれる需要等の詳細な把握が可能となる事によって、持続可能なコミュニティ交通の運行につながり、ひいては、公共交通空白地域における高齢者など、交通弱者の移動手段の確保にも一定の効果をもたらす事を期待している。



檀紙地区コミュニティ協議会の主導で、10月1日から檀紙地区コミュニティタクシー試験運行スタート!

まちづくり

質問 身近な公園整備の要望がある地域に対しての整備方針

答弁

平成26年度(2014年度)には身近な公園整備事業を創設し、公園整備の円滑な推進に努めている。これまでの取り組みにより、公園のない小学校区の解消は、おおむね図られた事から、今後においては整備方針を各小学校区の公園面積の拡充に変更し、ご指摘にもある地域の協力体制や合意形成の状況はもとより、各小学校区における公園規模や1人当たりの公園面積、整備場所の利便性などにも留意する中で、引き続き、市有地の活用や予算の確保にも工夫を凝らしながら、地域の要望に応じた身近な公園整備に計画的に取り組んでいきたい。

【令和元年9月定例会 一般質問】

令和元年第4回定例会(9月定例会、9月議会)において、9月11日(水)、一般質問に登壇しました。

質問項目

1. 行政窓口のICT化の今後の見通しについて
2. 暑さ対策について
3. 指定管理者制度導入施設について
4. 入札不調について



行政窓口のICT化の今後の見通し

質問 行政窓口のICT化の今後の見通し

答弁

今年5月にデジタル手続法が成立し、行政手続きのオンライン化が地方自治体等に努力義務とされた事から、ICT（情報通信技術）に関する技術やサービスの動向も踏まえ、行政窓口のICT化を積極的に推進し、窓口サービスの向上や窓口業務の効率化を図る。

暑さ対策

質問 学校の体育館に熱中症対策としてスポットクーラーを導入する考え

答弁

現在のところ、学校の体育館にスポットクーラーを直ちに導入する考えはないが、これまでの対応を引き続きしっかりと実施する事により熱中症の予防対策を図っていききたい。



入札不調

質問 入札不調・中止の現状、屋島山上拠点施設整備の入札不調を踏まえた今後の対応

答弁

今年度、令和元年（2019年）8月31日時点、契約監理課発注の工事では、発注件数210件のうち、不調が32件、中止が32件で、入札不調及び中止の割合は30.5%。

屋島山上拠点施設整備の入札不調を踏まえた今後の対応について、入札不調には様々な要因が考えられる事から、まずは、その要因を分析するため、企業へのヒアリング調査などを実施したい。その上で、本事業は国庫補助事業である事から関係機関とも協議をしながら、できるだけ早期の完成に向けて今後の対応方針を決定したい。

高松市議会議員とみの和憲

市政レポート 第12号

令和元年(2019年)11月発行

〒761-8043

高松市中間町 598 番地1

TEL:087-885-0370

FAX:087-816-8231

e-mail:kaz.tomino@gmail.com

とみの かずのり ●富野和憲プロフィール●

昭和46(1971)年12月29日 高松市中間町生まれ(47歳)

檀紙幼、檀紙小、香東中、大手前高松高卒

平成 7(1995)年 立命館大学法学部卒業

高松市役所入庁(納税課・市民課・人事課)

平成19(2007)年 高松市役所退職

以後、国会議員秘書(平成26年6月退職)

平成23(2011)年 高松市議会議員選挙に立候補(2,165票)、惜敗

平成27(2015)年 高松市議会議員選挙に立候補(3,239票)、初当選

平成31(2019)年 高松市議会議員選挙に立候補(4,381票)、二期目

「学校トイレの洋式化を推進する地方議員ネットワーク」参加議員

日本旗章学協会、日本唐揚協会 各会員

ホームページ「とみの和憲 公式サイト」(<http://tomino.online/>)

ブログ「とみの和憲 徒然ブログ」(<http://ameblo.jp/k-tomino/>)



facebook.com/kazunori.tomino



@kaz_tomino



ご覧頂き、ぜひ「お友達」申請、フォローをお願いします!

※お気軽に、皆様のご意見・ご提言をお寄せください。※

※お金に依存しない、クリーンな政治活動を続けます。ご理解ください。※